



おくすり通信

No. 33 高血圧について

こんにちは、薬剤科です。寒い日が続き、血圧が高くなることが多くなっていませんか？今月は生活習慣病の一つである高血圧について説明していきます。

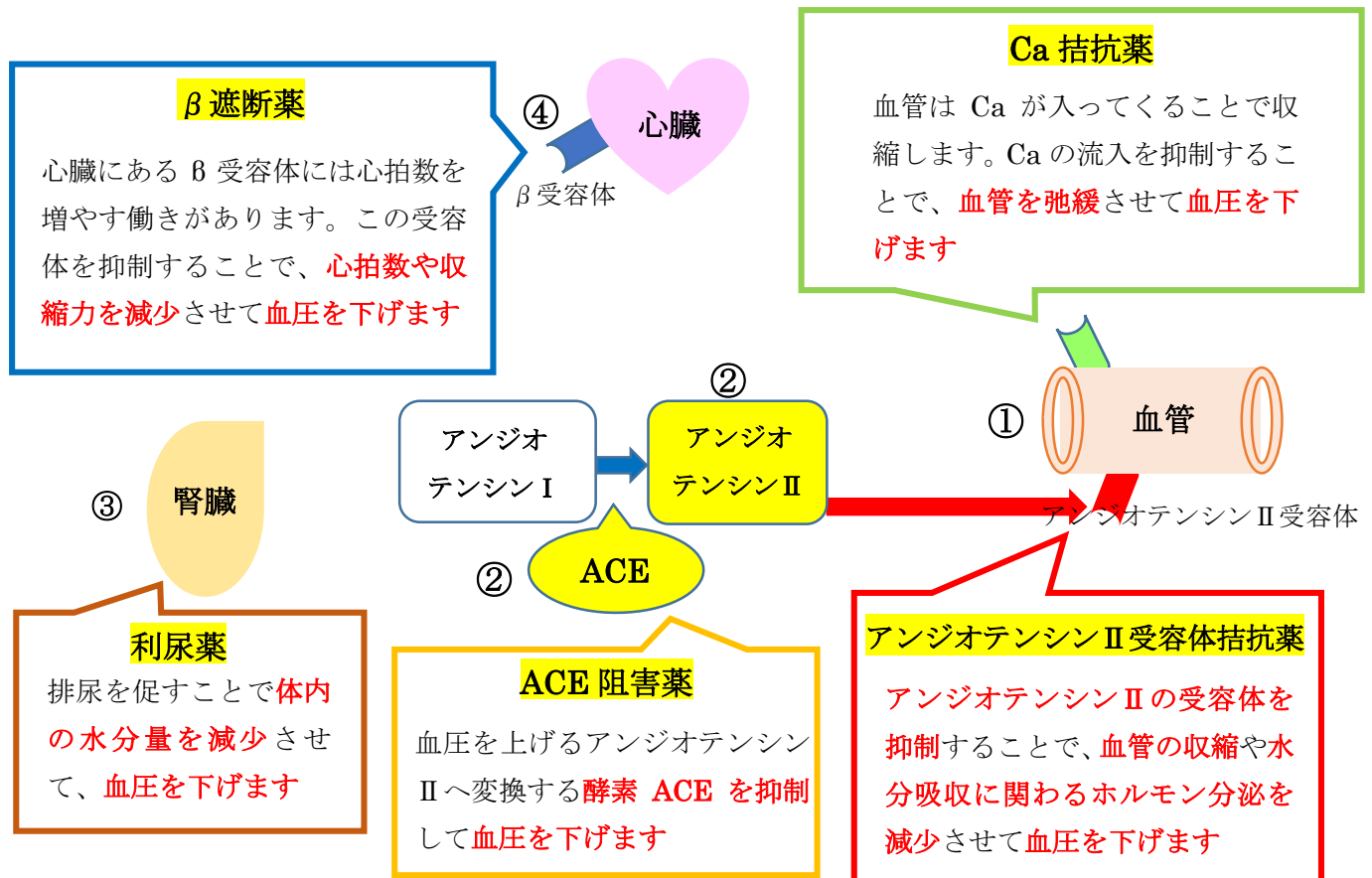
《高血圧とは》

血圧とは心臓が動脈を通して全身に血液を送り出すための圧力ですが、血圧の最高値（**収縮期血圧**）が**140mmHg以上**、または血圧の最低値（**拡張期血圧**）が**90mmHg以上**の時、高血圧と判定されます。高血圧が持続すると、全身の血管や心臓に負担がかかり、**脳出血や脳梗塞、心不全や大動脈瘤**といった命にかかわる病気になるリスクが上がります。

高血圧は「**本態性高血圧**」と「**二次性高血圧**」の2種類に分類されます。原因が明らかでない高血圧が「**本態性高血圧**」と呼ばれ、約90%がこちらに該当します。一方「**二次性高血圧**」は病気や薬剤などが原因で高血圧となります。どちらも適切に治療を行えば血圧を下げるすることができます。

《降圧薬の作用部位》

血圧を下げるには①血管の収縮を抑える ②血圧を上げるホルモンを減少させる ③体液量を減少させる ④心臓の心拍数を抑えるの4つの方法があります。**血圧を上げるホルモンはアンジオテンシンⅡ**と呼ばれ、これは**ACE**（アンジオテンシン変換酵素）と呼ばれる酵素によって、アンジオテンシンⅠというホルモンから作り出されます。



そのほか気になる点がございましたら、お気軽にご相談ください。